

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び  
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成  
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築  
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成  
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福岡県 】

学校名【 豊前市立千束中学校 】

1 実践テーマ	①・II・III・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	全校生徒（201名）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ ） ② 行事名（ オリ・パラ集会 ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	○聖火の歴史や役割を知り、実際に東京オリンピックで使われたトーチと地元の聖火ランナーの話を聞いて、オリンピック・パラリンピックに興味関心を高める。
5 取組内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【1964 東京五輪のトーチ】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【全校集会でのプレゼン】</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>全校集会にて、プレゼンを使ってクイズ形式で聖火リレーの歴史や役割などを学ぶ。</li> <li>1964東京五輪で実際に使われた聖火リレーのトーチを披露する。 (このトーチは、本校生徒会長の祖父で、東京大会の聖火ランナーだった方(故人)のもので、普段は豊前市役所の1階ロビー正面に、他のメダルや資料と共に飾られている)</li> <li>生徒に「祖父が聖火ランナーだったということを初めて知ったとき」や「祖父の思い出」などをインタビューしながら語ってもらう。</li> </ul>

	  <p style="text-align: center;">【当時の新聞記事】      【祖父のトーチをもって登場】</p>
<p>6 主な成果</p>	<p>① 地域や母校への誇りを持たた。 自分たちの先輩に聖火ランナーがいたことを知り、「歴史の中の出来事を身近に感じ・・・」「そんな人が卒業生にいてうれしい」など、地域や母校への誇りを感じた感想が多かった。</p> <p>② オリンピック・パラリンピックを身近なものと感じた。 地元の聖火ランナーの存在を知り、テレビや教科書の中でしか知らなかった東京大会に興味や関心を持ち、「地元の聖火リレーをぜひ見に行きたい」という声が多かった。</p>   <p style="text-align: center;">【市役所1Fに展示中】</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 国際パラリンピック委員会 (IPC) 公認教材『I'm POSSIBLE』等を使って、クイズ形式で聖火リレーの歴史や意義を学んだ後、豊前市役所に展示している前回の東京大会で実際に使われたトーチを披露する。</li> <li>• 聖火ランナーの孫が現生徒会長なので、インタビューして祖父の思い出話を語ってもらう。</li> </ul>
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 市役所に展示していたトーチを拝借するにあたり、元聖火ランナーの家族の方からは「みなさんのお役に立てるのなら」と快く提供していただいた。多くの生徒に触れさせたかったが、貴重なものなので、運搬時は慎重に取り扱った。</li> </ul>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 今年地元で行われる予定の聖火リレーの様子を教材化し、スポーツのすばらしさを実感できるような授業を実施する。</li> <li>• 国際パラリンピック委員会 (IPC) 公認教材『I'm POSSIBLE』をつかった授業を継続して行う。</li> </ul>